

# TREND MICRO™ Deep Discovery™ Email Inspector 9300

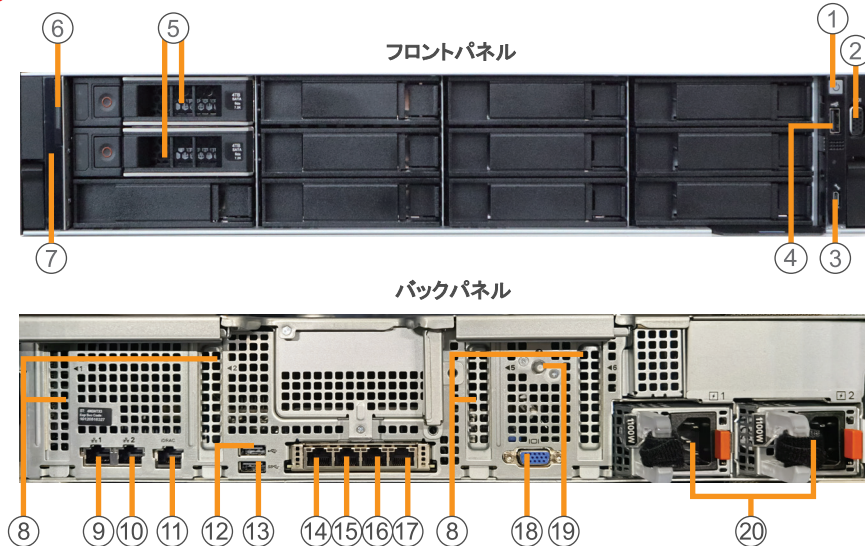
Deep Discovery Email Inspectorは、メールメッセージに含まれる不審なリンクや添付ファイルを検索し、シミュレートして分析することで、巧妙な標的型攻撃やサイバー脅威が企業内のネットワークに侵入する前に阻止します。既存のメールネットワークと統合するように設計されているため、メールトラフィックフロー内のメール転送エージェントとして、またはネットワークのサイバー脅威や望ましくないスパムメールメッセージを監視するアウトオブバンドアプライアンスとして動作できます。

## 1 箱を開いて内容物を確認する

Deep Discovery Email Inspectorの箱に次のものが同梱されていることを確認します。



## 2 Deep Discovery Email Inspectorアプライアンスを調べる

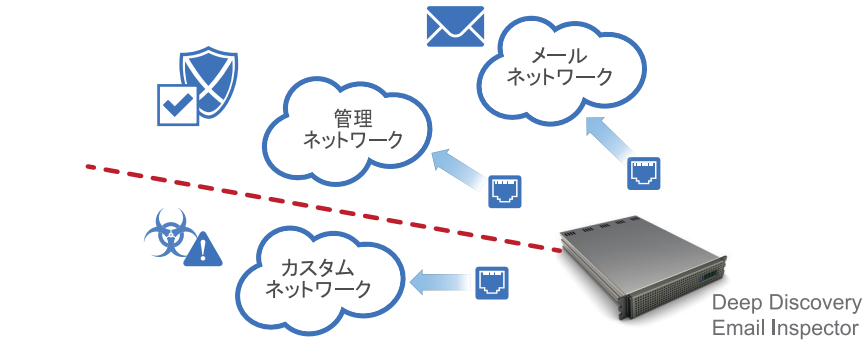


- |                         |                    |                |
|-------------------------|--------------------|----------------|
| (1) 電源インジケータ/ボタン        | (7) ステータスLEDインジケータ | (14) eth2      |
| (2) 前面ビデオコネクタ           | (8) 拡張カードスロット      | (15) eth3      |
| (3) iDRACダイレクトポート       | (9) 初期設定の管理ポートeth0 | (16) eth4      |
| (4) USB 2.0コネクタ         | (10) eth1          | (17) eth5      |
| (5) ハードドライブ             | (11) iDRACポート      | (18) 背面ビデオコネクタ |
| (6) システム状態とシステムIDインジケータ | (12) USB 2.0コネクタ   | (19) システムIDボタン |
|                         | (13) USB 3.0コネクタ   | (20) 電源コネクタ    |

**注意:** デバイスにはRJ-45対応Ethernet NICが付属しています。オプションの1ギガビットまたは10ギガビットファイバーNICを別途購入した場合は、拡張カードスロットに挿入してください。

# クイックスタートガイド

## 3 推奨するネットワーク環境



カスタムネットワーク	仮想アナライザによる解析で使用します。不正なサンプルが他のネットワークに影響しないよう、接続制限のないまたは専用プロキシを使用する独立したネットワークである必要があります。メールネットワークが設定されていない使用可能なデータポート (eth1~eth5) を使用します。
管理ネットワーク	管理コンソール、SSH接続、およびコンポーネントのアップデートを処理します。メールトラフィックを処理するポートとして使用することもできます。管理ポート (eth0) のみを使用します。
メールネットワーク	(オプション) メールルーティングと監視を処理します。配置に応じて次のデータポートを使用します。 • BCCまたはMTAモードでは、使用可能なデータポート (eth1~eth5) を使用します。 • SPAN/TAPモードでは、使用可能なeth4またはeth5データポートのみを使用します。

ネットワーク配置環境を計画し、BCC、MTA、およびSPAN/TAP操作モードについて確認するには、「インストールガイド」の「配置」を参照してください。

## 4 配置チェックリスト

要件	詳細
アクティベーションコード	トレンドマイクロから取得します
モニタとVGAケーブル	アプライアンスのVGAポートに接続します
USBキーボード	アプライアンスのUSBポートに接続します
USBマウス	アプライアンスのUSBポートに接続します
Ethernetケーブル	管理ポートとデータポートに接続します。 <b>必須:</b> 管理ポート (eth0) を管理ネットワークに接続します。 <b>推奨:</b> データポート (eth1~eth5) をカスタムネットワークに接続します。 <b>オプション:</b> 未使用のデータポートをメールルーティングと監視用のメールネットワークに接続します。
IPアドレス	<b>必須:</b> 管理ネットワーク用にIPv4アドレスを1つ。 <b>推奨:</b> カスタムネットワーク用にIPv4アドレスを1つ。 <b>オプション:</b> メールネットワーク用にIPv4アドレスを2つと、管理ネットワーク用にIPv6アドレスを1つ。
管理コンソール	以下のソフトウェアがインストールされているコンピュータから管理コンソールにアクセスします。 • サポート対象のWebブラウザ: • Microsoft Edge • Mozilla Firefox • Google Chrome

## 5 ハードウェアを設定する

1. 標準的な19インチ4本柱のラック、または頑丈な机などの安定した場所にDeep Discovery Email Inspectorアプライアンスを設置します。

**注意:** アプライアンスを設置する際は、換気と冷却が適切に行われるよう前後左右に少なくとも2インチ (約5cm) の隙間を空けてください。

- アプライアンスを電源につなぎます。
- モニタをアプライアンス前面のVGAポートに接続します。
- キーボードとマウスをアプライアンス前面のUSBポートに接続します。
- アプライアンスの電源を入れます。

## 6 初期設定を実行する

コマンドラインインタフェースでネットワーク設定を行い、管理コンソールにアクセスします。

**注意:** SSH経由での接続の詳細については、管理者ガイドを参照してください。

- 初期設定のアカウント情報を入力して、コマンドラインインタフェースにログインします。  
• ユーザ名: admin  
• パスワード: ddei
  - 「enable」と入力して <Enter> キーを押します。
  - 初期設定のパスワード「trend#1」を入力して <Enter> キーを押します。プロンプトが > から # に変わります。
  - 次のコマンドを実行してネットワークを設定します。  
configure network basic
  - 管理ネットワークの設定を行います。各設定を入力するたびに <Enter> キーを押します。IPv6の設定は任意です。  
• IPv4アドレス  
• サブネットマスク  
• IPv4ゲートウェイ  
• 優先IPv4 DNS  
• 代替IPv4 DNS  
• IPv6アドレス  
• プレフィックス長  
• IPv6ゲートウェイ  
• 優先IPv6 DNS  
• 代替IPv6 DNS
  - 「Y」と入力して設定を確認し、再起動します。
- Deep Discovery Email Inspectorが指定されたネットワーク設定を行い、すべてのサービスを再起動します。初期設定が完了し、管理コンソールにアクセスできるようになります。

## 7 管理コンソールにアクセスする

- サポートされているWebブラウザから、次のWebサイトの管理コンソールを開きます。  
[https://{appliance\\_ip\\_address}](https://{appliance_ip_address})  
**注意:** 初期設定の手順5で設定したIPv4アドレスを使用します。初期設定のIPv4アドレスは192.168.252.1です。
  - 証明書が別のWebサイトのアドレス用に発行されたものであることを示すエラーが表示されたら、[続行する] をクリックして続行します。
  - 初期設定のアカウント情報を指定します。  
a) ユーザ名: admin  
b) パスワード: ddei
  - [ログイン] をクリックします。
  - 初期設定のパスワードを変更します。
- 管理コンソールのダッシュボードが表示されます。追加の設定手順については、管理者ガイドの導入に関する章を参照してください。

## 8 連絡先情報

- Webサイト: <http://www.trendmicro.com/>
- 電話: 03-4330-7601(営業代表)
- 住所: 〒160-0022 東京都新宿区新宿4-1-6 JR新宿ミライナタワー

© 2024 Trend Micro Incorporated All rights reserved. TRENDMICRO, Trend Micro Apex One, ウイルスバスター, Trend Micro Apex Central, Trend Micro Control Manager, およびDeep Discoveryは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。その他の製品名または会社名は、各社の商標または登録商標です。本書に含まれる内容は予告なしに変更される場合があります。